

# スポーツの力で「健康」に！

パラリンピックがあり、日本国内がスポーツで盛り上がっていくことは必至です。そこで、丸山浩一市長と影響や西東京市の魅力、東京2020大会に向けての思いを、それぞれお聞きしました。

## スポーツを通じて健康に、そして人生にプラスを

**Q** 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けての思いをお聞かせください。

**A 監督** 東京という身近な場所でオリンピックが開かれるので、そこを目指す選手にとっては大きなモチベーションになると思いますし、若い選手もどんどん頑張ってもらいたいです。オリンピックを目指すということに限らず、夢をかなえるためには目標を明確にすることが大切です。何を狙うのかという目標を強く持って、それに向かって努力していくことができれば、もしも夢をかなえられなかったとしても、必ず何か得られるものはあるはず。東京オリンピック・パラリンピックは、国民がいろいろなスポーツに興味を持つきっかけになると思いますし、そうやって自分でもスポーツをやってみようかなと思う人が増えれば、健康的な部分でもいい影響があると思います。

**A 市長** 昨年10月に、足立区・江戸川区と共に、オランダオリンピック委員会・スポーツ連合そして日本スポーツ振興センターと連携して、2020年まで障害者スポーツの力を活用して各自治体の地域における課題を解決するプロジェクトがスタートしました。11月の市民まつりには、卓球のパラリンピックメダリストであるケリー・ファン・ゾン選手に参加していただき、市内のシチズン時計卓球部の選手たちとのデモンストラレーションが実現しました。今後もスポーツを通じて地域を盛り上げていきたいと思っています。



これまでのスポーツ振興などへの多大な貢献に対して感謝状を贈呈(昨年12月2日)

**Q** 今シーズンから千葉ロッテマリーンズの監督に就任して、新たな挑戦が始まります。どんな指導者になりたいと考えていますか？

**A 監督** 特別なことはできませんから、今まで自分が21年間の現役生活で学んできたことを伝えていただけですし、それを采配にも生かしていきます。理想は、私がプロに入った時の監督である王さんのようにどっしり構えていて、ホワイトソックスで世界一になった時の監督であるオジー・ギーエンのようなコミュニケーションをとる監督です。2017年は悔しいシーズンだったので、チームを立て直して優勝したいです。若い選手をどうやって育てていくかという部分で、今は楽しみしかありません。



**Q** 井口監督へ一言お願いします。

**A 市長** このたびは監督就任、おめでとうございます。昨年9月24日に行われた引退試合での同点の2点本塁打や、試合後の引退セレモニーを見させていただきました。多くの夢と希望を与え、広く敬愛される井口監督は、私たち市民の大きな誇りです。また、これまで、車いすやAED\*の寄附など、生まれ育った西東京市に多大な貢献をしていただきました。市民を代表して改めて感謝を申し上げます。今後は、メジャー経験のある初めての日本人監督として、若き力を育て、日本の野球界、さらには世界の野球界のけん引役を担っていかれるものと思います。井口監督の新たな挑戦に大いに期待をしています。 \*自動体外式除細動器

**Q** 最後に西東京市民の方へメッセージをお願いします。

**A 監督** 将来、スポーツ界や、いろんな世界で活躍する方が一人でも多く出てくれることを願っています。そのために僕も協力できることはしていきたいです。また、西東京市には世界に羽ばたく人材の教育や、スポーツ選手を送り出すような環境づくりをしてもらって、市民の方には頑張ってください。そして、今シーズンからは千葉ロッテの監督になりますので、応援よろしくをお願いします。



井口資仁監督

## 西東京市民栄誉賞 第1号 井口資仁監督の経歴

誕生	小学生～中学生	高校生	大学生	福岡ダイエーホークス (現・福岡ソフトバンクホークス)	MLB	千葉ロッテマリーンズ
1974年 田無市(現・西東京市)にて誕生	1980年 市内の少年軟式野球チームに所属 市立柳沢小学校に入学  捕手を務める	1986年 市立田無第四中学校に入学	1989年 国学院久我山高校(東京都)に進学 2年生の夏に甲子園出場 1992年 青山学院大学に進学 東部大学リーグの三冠王	1996年 アトランタ五輪で銀メダル獲得 1997年 プロデビュー 1999年 2回の日本一に貢献 2003年	2005年 ワールドシリーズ制覇に貢献 シカゴ・ホワイトソックスとメジャー契約	2006年 市民栄誉賞を受賞 2009年 千葉ロッテマリーンズに入団 2010年 日本シリーズに進出し、日本一を達成 2012年 史上98人目となる日本プロ野球通算200本塁打を達成 2013年 史上5人目となる2000本安打を達成 NPB*1/MLB*2通算250本塁打および 2015年 350二塁打を達成 2017年 現役引退、翌シーズンからのロッテ一軍監督就任を発表 背番号は現役時代と同じ「6」を使用 2018年 監督として試合に臨む

\*1:(一社)日本野球機構(Nippon Professional Baseball Organization)の略称ですが、ここでは「日本国内のプロ野球」を指します。

\*2:メジャーリーグベースボール(Major League Baseball)の略称ですが、ここでは「全米のプロ野球」を指します。